

地震調査研究推進本部地震調査委員会

第 152 回強震動評価部会

議事要旨(案)

1. 日 時 平成 28 年 9 月 14 日(水) 10 時 00 分～12 時 20 分

2. 場 所 文部科学省 13F1・13F2 会議室 (霞が関コモンゲート東館 13 階)

3. 議 題

- (1) 震源断層を特定した地震の強震動予測手法について
- (2) 地下構造モデル作成の考え方について
- (3) 長周期地震動評価について
- (4) その他

4. 配付資料

- 強 152 (1) 第 151 回強震動評価部会 議事要旨 (案)
- 強 152 (2) 強震動評価部会の今後当面の具体的な検討方針案
- 強 152 (3) 強震動評価部会 活動計画案 (2016. 09. 06 時点案)
- 強 152 (4) 地下構造モデル作成の考え方 (1 ～ 4 章案)
- 強 152 (5) 長周期地震動ハザード評価 (仮称) 2016 年試作版 (案)
ー相模トラフ巨大地震の検討ー
- 参考資料 1 第 151 回強震動評価部会 議事概要 (案)
- 参考資料 2 メーリングリスト[shindou]における議論
- 参考資料 3 強震動予測手法検討分科会の検討状況
- 参考資料 4 地震動予測地図高度化WGの検討状況
- 参考資料 5 「レシピ」の一部記述表現について (案)
- 参考資料 6 「震源断層を特定した地震の強震動予測手法」の検証について
(瀬瀬部会長資料)
- 参考資料 7 活断層の長期評価に基づく強震動評価の改良 ー平成 28 年 (2016 年)
熊本地震を踏まえてー (防災科学技術研究所資料)
- 参考資料 8 長周期地震動ハザード評価 (仮称) 2016 年試作版修正・指摘事項一覧
(2016. 03. 31 案 → 2016. 09. 06 修正)
- 参考資料 9 長周期地震動ハザード評価 (仮称) 2016 年試作版 ー相模トラフ巨
大地震の検討ー の概要
- 参考資料 10 地震本部ニュース「夏」2016
- 机上資料 震源断層を特定した地震の強震動予測手法 (「レシピ」)

5. 出席者

- 部会長 瀬瀬 一起 国立大学法人東京大学地震研究所教授
- 委員 栗田 泰夫 国立研究開発法人産業技術総合研究所地質調査総合センター

	活断層・火山研究部門活断層評価研究グループ上級主任研究員
入倉孝次郎	愛知工業大学地域防災研究センター客員教授
岩田 知孝	国立大学法人京都大学防災研究所教授
運上 茂樹	国立研究開発法人土木研究所耐震研究監
久保 哲夫	国立大学法人東京大学名誉教授
佐藤 清隆	一般財団法人電力中央研究所広報グループ上席
西前 裕司	気象庁 地震火山部 地震津波監視課 地震動予測モデル開発推進官
藤原 広行	国立研究開発法人防災科学技術研究所社会防災システム研究部門長
翠川 三郎	国立大学法人東京工業大学環境・社会理工学院建築学系教授
源栄 正人	国立大学法人東北大学災害科学国際研究所教授
山中 浩明	国立大学法人東京工業大学大学院総合理工学研究科教授

6. 議事概要

- ・ 第 151 回強震動評価部会議事要旨（案）を承認した。
- ・ 強震動評価部会の方針について事務局より確認があった。
- ・ 震源断層を特定した地震の強震動予測手法（「レシピ」）の一部記述表現について事務局と額部会長より説明があり、議論した。
- ・ 活断層の長期評価に基づく強震動評価の改良について防災科学技術研究所より説明があり、議論した。
- ・ 地下構造モデル作成の考え方（1～4章案）について事務局より説明があり、議論した。
- ・ 長周期地震動評価 2016 年試作版の報告書案について事務局より説明があり、議論し、一部追加修正を検討する方針を確認した上で基本的に承認した。
- ・ 地震本部の活動の理解・普及の一環としての地震本部ニュース「夏」号について事務局より報告があった。

以上